

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績													目標 値	目標 年度	指標の説明	
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)													汚水処理人口普及率(%)	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	87.2%	88.0%	89.2%	89.8%	90.4%	90.7%	91.2%	91.7%	92.3%				
	下水道の整備	下水道普及率(%)													下水道普及率(%)	92.6%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	74.3%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.5%	79.5%	80.0%	81.0%				
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)													高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	・伊勢湾と三河湾の高栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	74.0%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.8%	79.5%	80.0%	81.0%				
	農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率(%)													農業集落排水処理人口普及率(%)	3.1%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水进行处理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	3.4%	3.4%	3.1%	3.9%	3.9%	3.3%	2.9%	2.9%	2.8%	2.9%	2.7%	2.7%	2.4%				
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)													合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて室菜、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.4%	10.4%	10.1%	9.9%	9.3%	9.2%	9.3%	9.3%	9.2%	9.2%	8.7%	8.8	8.7%				
	コミュニティプラントの整備	合併処理浄化槽の基数割合(%)													合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030	
		24.0%	26.7%	28.2%	29.7%	31.3%	33.1%	34.3%	35.9%	37.2%	37.8%	38.8%	39.6%	41.3%				
		コミュニティプラント処理人口普及率(%)													コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.11%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.14%	0.14%	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%				
	干潟・塩場造成事業	干潟・塩場造成面積(ha)													干潟・塩場造成面積(ha)	471ha	2014 ～2038	干潟・塩場を造成した面積
・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	4.7ha	7.5ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	1.8ha					
河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)													河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率	
・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	96%	92%	96%	96%	91.6%	100%	96%	95.8%	95.8%	95.8%	95.8%	100%	95.8%					
	海域(COD)の環境基準達成率(%)													海域(COD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年		
	67%	33.3%	67%	67%	66.6%	66.6%	67%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%					
水生生物調査	実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	—					
流域モニタリング一斉調査	延べ参加人数(人)													延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人	1,982人	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	12人	—					
・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	131箇所	176箇所	139箇所	152箇所	70箇所	82箇所	106箇所	87箇所	80箇所	47箇所	91箇所	45箇所	232箇所					
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	延べ参加人数(人)													延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	422人	667人	452人	362人	352人	151人	443人	555人	494人	257人	306人	191人	596人					
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	施策実施状況(件)													施策実施状況(件)	継続 実施	継続 実施	各機関の施策実施状況	
	188件	192件	200件	201件	205件	215件	217件	218件	219件	219件	—	—	—					
三河湾環境再生プロジェクト	サポーター数(人)													サポーター数(人)	継続 実施	継続 実施	サポーター数	
県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の推進を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。							375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	2,295人					
河川・海岸の清掃	実施回数(回)													実施回数(回)	前年増	単年		
・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回					
	実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所					
延べ参加人数(人)														延べ参加人数(人)	前年増	単年		
														9,880人				

めざす姿	指標とする取組	実 績													目標 値	目標 年度	指標の説明	
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積(ha)													間伐面積(ha)	4,000ha (県域)	2016 ～2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	1904ha	1,941ha	1,840ha	1,551ha	1,555ha	1,374ha	1,252ha	1,595ha	1,389ha	1,292ha	1,282ha	1,326ha	1,369ha				
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数													雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不利用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	206箇所	231箇所	163箇所	156箇所	211箇所	180箇所	84箇所	56箇所	37箇所	59箇所	39箇所	430箇所	41箇所				
		雨水貯留浸透施設設置補助件数													雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年	
		340件	271件	286件	358件	309件	283件	236件	162件	116件	108件	137件	150件	130件				
	透水性舗装の推進	整備面積(m ²)													整備面積(m ²)	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。								27,089㎡	38,879㎡	24,085㎡	48,008㎡	64,209㎡	31,951㎡				
		整備箇所数													整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所	48箇所	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	7箇所				
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)													整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	－	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km				
	干潟・浅場造成事業(再掲「きれいな水」)	干潟・浅場造成面積(ha)													干潟・浅場造成面積(ha)	－	－	干潟・浅場を造成した面積
	・水質・底質の悪化により低下した造坪生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	4.7ha	7.5ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	1.8ha				
	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数													整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所	48箇所	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	7箇所				
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)													実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回				
		実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所				
	延べ参加人数(人)													延べ参加人数(人)	前年増	単年		
25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	13,854人	9,880人						
水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	－					
	延べ参加人数(人)													延べ参加人数(人)	前年増	単年		
2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人	1,982人	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	12人	－						
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)													整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	－	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.1km	2.1km				
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)													実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回				
		実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所				
		延べ参加人数(人)													延べ参加人数(人)	前年増	単年	
	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	13,854人	9,880人					
		実施箇所数													実施箇所数	前年増	単年	
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所				

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

[illegible]

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績												
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
矢作川等流域	川・里海づくり	干潟・塩場の造成 ・塩場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟塩場を造成する。	県水産課	干潟・塩場造成面積(ha)												干潟・塩場造成面積(ha)
			4,7ha	3,7ha	3,1ha	1,5ha	2,6ha	3,8ha	6,4ha	4,9ha	4,6ha	3,9ha	3,6ha	2,6ha	1,8ha	
		矢作川水辺プラザ整備事業【2018終了】 ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、岡が堤防の幅幅と低水護岸整備等を行う。	岡崎市	管理箇所数												管理箇所数
			1,67ha(累積)	1,67ha(累積)	1,67ha(累積)	1,67ha(累積)	1,93ha(累積)	2,1ha(累積)	3,4ha(累積)	1箇所 3,76ha(累計)	1箇所 3,88ha(累計)	1箇所	- (2018年度で終了)	-	-	
		堤防倒壊防止の整備 ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の機能強化を図る。	西三河緑地事務所	築削延長(m)												築削延長(m)
			850m	36m	35m	45,5m	388,7m	260m	259m	784,4m	-	329,9m	134m	79m	600m	
		矢作川沿岸の水質保全 ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロールを実施する。	矢作川沿岸水質保全 対策協議会	パトロール回数												パトロール回数
			131回	131回	131回	148回	145回	156回	149回	158回	153回	154回	143回	157回	-	
		石川・光明寺川の無金活動	幸田町	実施回数(回)												実施回数(回)
				4回	17回	27回	27回	27回	27回	27回	2回	2回	-	4回	5回	5回
		参加箇所数												参加箇所数		
		2箇所		13箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	2箇所	2箇所	-	14箇所	150箇所	10箇所	
		延べ参加人数(人)												延べ参加人数(人)		
			376人	1,924人	7,688人	7,789人	7,781人	8,207人	7,782人	-	-	-	-	-	-	
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊橋河川事務所、豊水大気環境課(水質汚濁課)、豊橋河川事務所、県水大気環境課)	調査箇所数												調査箇所数
			50箇所	46箇所	43箇所	43箇所	36箇所	36箇所	50箇所	70箇所	65箇所	41箇所	3箇所	3箇所	-	
			延べ参加人数(人)												延べ参加人数(人)	
			1,943人	1,679人	1,834人	1,963人	1,400人	1,434人	857人	1,129人	185人	85人	6人	12人	-	
		干潟観察会の実施 ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数(回)												実施回数(回)
			1回	1回	1回	2回	3回	3回	3回	3回	2回	-	2回	0回	0回	
			参加者数(人)												参加者数(人)	
			141人	208人	17人	99人	158人	126人	126人	126人	78人	-	46人	0人	0人	
		「水のかんきょう学校」(水質かん養校事業) ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう学校」を開校し、水の大切さ・水源地の役割・「水循環」などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	研修事業研修回数												研修事業研修回数
			31回	29回	38回	18回	18回	26回	39回	26回	-	-	9回	7回	6回	
			研修事業参加者人数(人)												研修事業参加者人数(人)	
			6,094人	6,276人	3,911人	1,201人	1,302人	1,309人	2,569人	-	-	-	-	-	-	
	連携団体数(団体)												連携団体数(団体)			
	14団体	21団体	21団体	21団体	21団体	26団体	37団体	-	-	-	-	-	-			
乙川サミットの開催【2018終了】 ・乙川に関係する団体(学校、漁協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一堂に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に開催する。	岡崎市	参加者数(人)												参加者数(人)		
	・討論 4団体 ・参加団体 不明	18団体	18団体	15人	204人	22人(7団体)	36人(11団体)	19人	10人	-	(2018年度から未実施)	-	-			
船遊び(乙川観光船事業) ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「東海公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖瀬通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人)												参加者数(人)		
	3,894人	3,043人	2,467人	1,431人	1,728人	1,989人	2,098人	-	-	-	(民間事業移行のため削減)	-	7,207人			
船遊び(乙川観光船事業) ・乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(OURUWA戦略)に基づき、乙川河川敷において、観光船運航やキャンプ事業など様々な民間事業を実施することで、当該地区で「常に何か面白いことが起きている」という市民及び来訪者の感覚を醸成し、河川空間の日常的な利用を促進させる。	民間実行委員会 (岡崎市)	利用人数(人)												利用人数(人)		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
三河湾クルーズ「海の生き物観察」の実施【2018終了】 ・三河湾の現状を体感することで環境意識を高め、海の生き物観察や海のこみなどについての環境学習を実施する。	西尾市	参加者数(人)												参加者数(人)		
	-	-	-	-	-	-	-	-	94人	90人	-	-	-			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績												
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
境川等流域	森づくり	水原緑地育成事業	安知用水土地改良区	植樹面積(m ²)												
		・楡樹祭でヒノキの苗の楡樹を行う。		0,3ha	0,3ha	0,3ha	0,3ha	0,4ha	0,4ha	0,4ha						
	緑づくり	農地・農家の保全	刈谷市	除草作業実施回数(回)												除草作業実施回数(回)
		・路肩や竹の伐採をすることにより、カキツバタ群落の保護保全・増進を図る。		3回	3回	3回	3回	3回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	
		ため池の保全	大谷市	実施内容												
		・「結締の会」が、ため池付近の清掃、ピオトープ整備、緑化活動等を実施する。		ピオトープづくり	ピオトープづくり	-	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃	-	-	-	-	-	
	まちづくり	合流式下水道の整備		ろ過スクリーンの設置数												
		・合流式下水道として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。		7基(累計)	9基(累計)	12基(累計)	15基(累計)	-	-	-	-					
		・河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。	刈谷市	連続改善数												
				7箇所(累計)	9箇所(累計)	12箇所(累計)	15箇所(累計)	-	-	-	-					
【目標】 多様な動植物が育まれる河川環境を整え、かん養や生物の生息をもちあすための水の循環		特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組	刈谷市、豊田市、安城市、東郷町、大谷市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東海町、愛知県(※報告機関：境河川課)	実施内容												実施内容
		・境川流域において、流域水害対策計画に基づき総合治水対策を推進。 ・流域対策として雨水貯留浸透施設の設置を行う。		-	-	-	・貯留施設：17,610m ³ ・浸水性舗装：49,883m ² ・浸透トンチン：1,320m ² ・浸透柵：142個	○豊田市：1箇所(国本池) ○長河川課： ・貯留施設：27,429m ³ ・浸水性舗装：63,364m ² ・浸透トンチン：403m ² ・浸透柵：10個	・貯留施設：29,197m ³ ・浸水性舗装：63,805m ² ・浸透トンチン：403m ² ・浸透柵：10個	・貯留施設：42,210m ³ ・浸水性舗装：63,364m ² ・浸透トンチン：180m ² ・浸透柵：30個	・貯留施設：31,447m ³ ・浸水性舗装：66,656m ² ・浸透トンチン：712m ² ・浸透柵：93個	・貯留施設：34,439m ³ ・浸水性舗装：66,656m ² ・浸透トンチン：330m ² ・浸透柵：88個	・貯留施設：45,621m ³ ・浸水性舗装：65,977m ² ・浸透トンチン：70m ² ・浸透柵：1個	・貯留施設：77,752m ³ ・浸水性舗装：68,515m ² ・浸透トンチン：440m ² ・浸透柵：62個		-
		農地整備	安城市	整備容量(m ³)							2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。		6m ³	1,524m ³	32m ³	4,120m ³	-	-	30m ³	147m ³	0m ³	0m ³	0m ³	0m ³	
	川・里海づくり	明鏡川の清掃活動	東洲町	実施回数(回)												実施回数(回)
		・河川の清掃を行う。		5回	8回	6回	10回	10回	17回	15回	17回	-	14回	11回	8回	4回
		水生生物調査	赤松市、東水大気環境課(※報告機関：東水大気環境課)	実施箇所数												実施箇所数
		・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、県水大気環境課	18箇所	17箇所	14箇所	17箇所	21箇所	11箇所	14箇所	16箇所	6箇所	3箇所	9箇所	-	-
				724人	696人	593人	273人	765人	405人	490人	508人	120人	97人	293人	-	-
				延べ参加人数(人)												延べ参加人数(人)
油ヶ淵等	緑づくり	環境保全型農業推進事業	県農業経営課	環境保全推進マニュアル導入(戸数)							GAP認証取得件数					GAP認証取得件数
	【課題】	・環境安全推進マニュアルを始めとしたGAP手法の導入を推進する。 ・持続性の高い農業に取り組むエコファーマーの育成を推進する。		20産地	24産地	25産地	27産地	28産地	31産地	28産地	150産地	22産地	10件	-	-	11件
		○流域の汚濁負荷量の約7割は生活排水であり、生活排水対策を進めることが必要である。		721人	719人	711人	707人	642人	634人	627人	3,525人	559人	601人	1,448人	1,448人	1,456人
	まちづくり	農地整備	安城市	整備容量(m ³)							2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。		2,763m ³	414m ³	6,859m ³	11,878m ³	326m ³	-	402m ³	5,064m ³	3,000m ³	5,124m ³	0m ³	0m ³	0m ³
		生活排水対策モデル地区事業	安城市	学習会参加人数(人)												学習会参加人数(人)
		・毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水対策モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化啓発用品を配布し、実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・アンケート調査を実施し、実践活動の効果を確認する。		110人	60人	90人	67人	36人	143人	20人	-	終了	-	-	-	-
		アクション検定(油ヶ淵水質浄化イベントの実施)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大気環境課(※報告機関：県水大気環境課)	参加人数(人)												参加人数(人)
		・油ヶ淵の水質浄化の取組発表や講演などを行い、地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。		約400人	約400人	約400人	約350人	約300人	約300人	約130人	230人	840人	240人	650人	約470人	約450人
		水田貯留施設の整備	安城市	整備箇所							貯留容量(m ³)					貯留容量(m ³)
	・農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流で水田貯留施設を整備する。		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8,354m ³	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績													
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
油ヶ淵等	川・里海づくり	油ヶ淵の浄化対策 ・油ヶ淵への流入河川において、直接浄化施設による河川水質の改善を行う。 ・油ヶ淵及び流入河川の底泥からの栄養塩類の流出を防ぐため波瀬や覆砂を行う。 ・河川の多自然化や淵沼への植物の植栽により植物の生育における水質改善を行う。 油ヶ淵水辺公園整備 ・天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。 海浜環境整備事業 ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。 油ヶ淵浄化デー（油ヶ淵周辺の清掃活動） ・毎年7月第4日曜日に流域4市（碧南市、安城市、西尾市、高浜市）と流域住民が清掃活動を行う。 水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。 油ヶ淵清流ルネッサンスⅡ（油ヶ淵流域水環境モニタリング） ・清流ルネッサンスⅡに基づく各種対策が油ヶ淵や河川など、流域の水環境にどう反映しているかを把握するため、また、地域住民に水環境の現状を把握してもらうために水環境モニタリングを実施する。	安城市、知立建設事務所	浄化施設の完成施設数(m)												浄化施設の完成施設数(m)	
				—	4㎡	4㎡	4㎡	2㎡	8㎡	208㎡	209㎡	196㎡	191㎡	144㎡	145㎡	—	
				葦の面積(ha)（知立建設事務所）												葦の面積(ha)	
				8.6ha	0.8ha	1.3ha	1.2ha	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
				緑地浄化(m)（知立建設事務所）												緑地浄化(m)	
				120m	—	—	—	264m	559m	425m	924m	417m	—	65m	200m	—	
				整備状況												整備状況	
				・公園実施設計 ・施設設備設計 ・地盤調査 ・多歩道全調査	公園実施設計	公園実施設計	公園実施設計	一部造成工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	令和4年4月1日（一部開園） 引き続き工事中
				整備面積(ha)												整備面積(ha)	
				—	—	—	—	—	—	造成土工1式 排水・排水工1式	多目的広場整備1式 防護柵1式	多目的広場整備1式 トイレ設置1式	—	トイレ設置1式 駐車場整備1式	【緑地整備完了】 多目的広場遊歩道整備1式	—	
				区々参加人数(人)												区々参加人数(人)	
				3,380人	3,350人	3,050人	4,032人	4,378人	4,494人	4,578人	4,231人	4,103人	4,239人	4,087人	中止	1,356人	
		ごみの量(kg)												ごみの量(kg)			
		2,040kg	1,300kg	3,740kg	5,860kg	4,100kg	2,070kg	1,730kg	1,050kg	1,110kg	1,020kg	1,170kg	—	690kg			
		実施箇所数												実施箇所数			
		6箇所	1箇所	6箇所	4箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	—	—			
		区々参加人数(人)												区々参加人数(人)			
		119人	29人	250人	273人	24人	23人	28人	158人	115人	14人	22人	—	—			
		流域内200mg/L												流域内200mg/L			
		平均 5.9 mg/L	平均 6.6 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.5 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.7mg/L	平均 6.5mg/L	平均 6.6mg/L	平均 6.9mg/L	平均 6.4mg/L			
		流域内200mg/L												流域内200mg/L			
		平均 6.5mg/L	平均 5.3 mg/L	平均 5.5 mg/L	平均 9.0 mg/L	平均 4.9 mg/L	平均 5.2 mg/L	平均 6.1 mg/L	平均 6.0mg/L	平均 4.1mg/L	平均 6.1mg/L	平均 7.5mg/L	平均 6.4mg/L	平均 7.3mg/L			
		流域内200mg/L												流域内200mg/L			
		平均 28.6 cm	平均 25.2 cm	平均 26.7 cm	平均 25.2 cm	平均 31.3 cm	平均 25.7 cm	平均 26.8 cm	平均 27.4 cm	平均 32.9cm	平均 27.5cm	平均 27.8cm	平均 24.0cm	平均 27.5cm			
三河湾沿岸域 (知多半島等)	浜づくり 																